

自著と
その周辺

イラストレイテッド 脳腫瘍外科学

編集 河本圭司, 本郷一博, 栗栖 薫

医学書院 260頁
2011年
定価 16,000円

脳腫瘍臨床病理カラーアトラス, 頭蓋骨学など多くの本の編集, 執筆をされている関西医科大学の河本圭司教授(現名誉教授)から「脳腫瘍外科学」というタイトルの本をぜひいっしょに出さないかと, 広島大学の栗栖 薫教授と私に声を掛けていただきお引き受けした。「脳腫瘍の手術に関する本はたくさん出版されているが, 脳腫瘍の外科をひとつの学問としてとらえ, 手術手技だけでなく解剖・生理・病理などを包括的に, かつコンパクトにまとめたものはない」ということで, 見開き単位を基本とし, ビジュアルに理解しやすいように図を多く用い, 術中所見はカラーイラストとして手術の要点がわかるようにし, かつ手術のコツも取り入れる, というコンセプトで著した。脳腫瘍外科手術の総論, 脳腫瘍の手術の各論を, それぞれの分野の国内のエキスパートに執筆していただき, われわれ編者3名もそれぞれ執筆した。私は, 脳神経外科手術に必須な患者の体位, 手術顕微鏡, 手術器具について執筆した。医学書院の担当の方も含め4人, 何回となく学会などの折に集まり, 項目の選定, 執筆者の選定, 原稿の校正, イラストの手直しなどの作業を進めた。イラストは各著者から手書きでいただいたものをイラストレーターが統一して描き直した。60項目ほどにわたる内容で, ひとつひとつの原稿, イラストを校正するには, かなりの時間を要した。それぞれ複数回の校正を繰り返し, 全体を同じようなパターンに統一する作業も行い, 企画がスタートしてから出版までに約1年半要した。昨年3月に発行されたが, ほぼ当初のコンセプトに沿った本ができたと思っている。

本書の対象は, これから脳腫瘍の手術に取り組もうとしている若い脳神経外科医が中心であるが, ある程度経験を積んだ脳神経外科医にも脳腫瘍の外科の全体像をとらえるために有用な書になっている。また, ビジュアルでコンパクトにまとめているので, 脳神経外科医のみでなく, 研修医あるいは関連他領域の医師, 看護師にも読んでもらえる本であると思っている。

(信州大学医学部脳神経外科学講座 本郷 一博)

